
Love knot

歌宮 薫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

L o v e k n o t

【Nコード】

N 6 9 4 9 Y

【作者名】

歌宮 薫

【あらすじ】

寒い寒い冬の夜、高校生カップルのワンシーン。

リア充末永く爆発しろっpっ

時刻は午後十時過ぎ。

塾帰りの北林透と、安藤双葉は初冬の夜の寒さに震えていた。

とうの昔に冬服に衣替えしたものの、夜風は容赦なく着込む身を凍らす。主に寒さに弱い安藤の。

墨汁を垂らしたような夜空には、チカチカと星が瞬く。地上は頭上よりもずっと明るい光が三々五々に舞っていた。

そのまばゆい夜の中二人は歩幅を合わせ並んで歩く。

「おー、さつぷ。もうすぐ十二月なんだなー」

白い息を吐きながら北林は言う。暖房のきいた塾の校舎から出たばかりの二人には帰り道の寒風は身に凍みた。安藤は北見に肩をすくめ、それから裸の指先に息を吹きかける。白い気体は五本の指を撫でてから徐々に闇に溶けていく。かじかんだ指先がほんの少し和らいだ。

「双葉さーマフラーにカーディガンってセットなのに、何で手袋を防寒対策に入れないの？」

余りにも隣で寒がる安藤を見兼ねた北林が尋ねる。

「……うるさい。たまたま忘れたの」

決まりが悪いのか、安藤は暗がりの中のローファアの爪先に視線を落とした。

「大体、透なんて冬服一枚じゃない。そっちこそ、忘れたんでしょ？ 色々」

後半の一言に苦笑する北林に僅かな反撃を試みるも、学ランのポケットから取り出されたカイロと持ち主のまるで勝者のような笑みにあっけなく終わる。どうやらそれ一つでこの寒さを凌いでいるらしい。

肉体構造の違いに安藤は絶句した。

「全く、双葉ってオレより頭いいくせにどっか抜けてんだよな」

そう言うや否や、北林は安藤に示したカイロを元ある場所に仕舞った手でその凍えた手をひよいと掴み、自分のポケットへ連れ込んだ。視線はまだ下のままだった安藤は突然のことに目を見張る。反対に当事者の北林はどこ吹く風だ。

「ちょ、何して！」

「何って寒さ対策」

「そうじゃなくてなんで私が透とこんな恋人っぽいことしなきゃいけないのかってこと！」

「え？ だって恋人同士だし」

「だあああさらつとそういうこと言うなバカ！」

恋愛慣れしていない安藤は、面白いくらい慌てふためく。

暗いからよく分からないがきつとその顔は真っ赤に違いない。

可愛いなあと目を細めれば、むくむくと湧いてくるのはちょっとしたいたずら心。

きゅつと指同士絡めれば、頭一つ小さい隣の体が跳ねた。予想通りの反応に北林は笑いを噛み殺す。安藤は不精不精といった感じではあったがふり解く気配は見当たらなかった。

「どうして私が……」

「いいじゃん別に。恋人繋ぎぐらい」

おどけた風に言えば、安藤は納得できないと唸り出す。

過去数回異性交遊のあった北林は、手を繋ぐことにさほど抵抗は抱かない。

だからこそ、安藤の反応は新鮮だった。からかいたくってしょうがない。次は一体、どんな困ったような、恥ずかしがっているような、怒っているような表情を見せてくれるのだろうか？

「あー、あつたけー」

幸せを噛み締めてポケットの中のカイロよりずっと自分を温める存在をきつく包みこむ。

「寒い」とうそぶく彼女の言葉はこの際無視して。

すぐその十二月はどうやら暖かさそうだ。

（後書き）

タイトルの和訳は「恋結び」

恋人繋ぎの二人をイメージして。

部員に見せた所「これお前が作ったんじゃないだろ」と言われました……。

すみません、私が作りました。

良ければ感想・評価お願いします。

今後の文芸部活動の参考にさせていただきます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6949y/>

Love knot

2011年11月20日21時40分発行